

# I 類

# 土木造園(造園)専門問題

令和4年度施行 特別区職員 I類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意

- 1 問題は、〔問題1〕から〔問題6〕まで6題あり、このうち4題を任意に選択して解答してください。4題を超えて解答した場合は、〔問題1〕以降解答数が4に達したところで採点を終了し、4を超えた分については採点しないので、注意してください。
- 2 解答は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間30分です。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 5 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

## 〔土木造園(造園) 問題1〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①、②は、日本庭園に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語を解答欄に記入せよ。

- ①  は、敷地外の景観を単なる庭園の背景としてではなく、庭園の構成要素の一つとして捉える手法である。代表的な例として、 を とする、京都市左京区の円通寺庭園がある。
- ②  は、回遊式庭園に対する語で、建物内からの鑑賞を前提として構成された庭園様式である。 の範疇には、室町時代以降の 造建築に伴い造られた庭園様式である 造庭園がある。

(2) 西洋の造園史に関する次の問①、②に答えよ。

- ① アゴラについて、機能を含めて説明せよ。
- ② パティオについて説明し、その構成要素を3つ挙げよ。

## 〔土木造園(造園) 問題2〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①～③は、都市公園法に規定する立体都市公園に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語を解答欄に記入せよ。

- ① 公園管理者は、都市公園の存する地域の状況を勘案し、適正かつ合理的な  の促進を図るため必要があると認めるときは、都市公園の区域を空間又は  について下限を定めたものとするができる。
- ② 立体都市公園の設置基準には、当該立体都市公園の設置場所及び  を明示することが定められている。
- ③ 公園管理者は、立体都市公園と当該立体都市公園の区域外の建物とが一体的な  となるときは、当該建物の所有者と協定を締結し、協定に従って、当該建物の管理を行うことができる。

(2) 防災公園に関する次の問①～③に答えよ。

- ① 次のア、イについて、役割と規模を述べよ。  
ア 地域防災拠点の機能を有する都市公園  
イ 一次避難地の機能を有する都市公園
- ② 都市公園法に規定する公園施設のうち、災害応急対策に必要な施設を2つ挙げよ。
- ③ 災害時における植栽の効果を4つ挙げよ。

## 〔土木造園(造園) 問題4〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文は、土壌に関する記述であるが、文中の空所ア～エに該当する語を下の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

黒ボク土は、を母材とし、北海道、東北、関東、に多く分布する。特徴は、保水性に優れ、。また、アルミニウムが活性化しやすく、作物が欠乏になりやすい。

<語群>

- A 重い      B 火山灰      C カリウム      D 軽い      E 九州      F 四国  
G 石灰岩      H 窒素      I リン酸

- (2) 有機質肥料に関する次の問①、②に答えよ。

- ① 有機質肥料の効果を3つ述べよ。  
② 化学肥料と比べた有機質肥料の欠点を2つ述べよ。

- (3) 街路樹の樹種を決定するに当たっての留意点を4つ挙げよ。

## 〔土木造園(造園) 問題5〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①、②は、生態学に関する記述であるが、文中の空所A～Fに該当する語を下の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① 生活史戦略には、ロジスティック式の  と  に由来する、 戦略と  戦略がある。 戦略は、不安定な環境のもとで、寿命が短く、1回の繁殖で子を多産し、成長が速く、体が小さいなど、 率を高める特徴を持つ。 戦略は、安定した環境のもとで、寿命が長く、複数回繁殖し、子は少数で、成長が遅く、体が大きいなど、 力を高める特徴を持つ。この2つの戦略の特徴の間には、 が存在する場合がある。
- ② 個体が、遺伝的な変化を伴うことなく表現型を環境に応じて変化させることを、 という。

<語群>

ア C	イ K	ウ S	エ r
オ 遺伝的浮動	カ 回復	キ 競争	ク 生存
ケ トレードオフ	コ 内的自然増加	サ 表現型可塑性	シ フィードバック

(2) 生物の多様性に関する条約(生物多様性条約)に関する次の問①～③に答えよ。

- ① 条約の目的を3つ挙げよ。
- ② 条約第2条に規定する「生物の多様性」の定義を3つのレベルに言及して述べよ。
- ③ 条約第6条の一般的な措置の規定を受けた、我が国が行ってきた取組について述べよ。

## 〔土木造園(造園) 問題6〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の①、②は、石積工に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語又は数値を解答欄に記入せよ。

- ① 工法による石積の種類には、裏込めにコンクリートを用いずに割栗石や目潰し砂利を用いて積む  と、裏込めにコンクリートを用いて積む練積がある。練積は、 $3\text{m}^2$ に1か所程度の水抜き穴を設置し、概ね10mごとに  を設けなければならない。
- ② 材料による石積の種類には、日本独特の四角錐形の石材を使用した  積がある。 の控えは四方落とし、合端加工されたもので、控えの長さは面の最小辺の  倍以上とされている。

(2) 植生工に関する次の問①、②に答えよ。

- ① 種子吹付工について、使用する材料を含めて説明せよ。
- ② 植生マット工の特徴を2つ挙げよ。

(3) 害虫防除に関する次の問①、②に答えよ。

- ① 物理的防除の方法を3つ挙げよ。
- ② 総合防除の考え方について説明せよ。